

2025 年 9 月 2 日

株 主 各 位

小 津 産 業 株 式 会 社
代表取締役社長 社長執行役員 柴崎治
東京都中央区日本橋本町三丁目 6 番 2 号

第 114 回定時株主総会ご質問事項へのご回答

2025 年 8 月 27 日開催の第 114 回定時株主総会において株主さまからいただきましたご質問及び会社回答につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

●ご質問

1	長期ビジョン「OZU Innovation2034」の売上目標 150 億円の達成見込みと新規事業の進捗状況について
回答	既存事業で 30 億円、新規事業で 20 億円の売上増を見込みます。また、半導体などのエレクトロニクス関連は、引き続き伸長が予想される市場であり、不織布以外の商品も販売して達成を図ります。新規事業においては、社長直轄の事業戦略室で今までに約 50 案件を検討し、進捗している案件もあります。
2	半導体・製薬工場向け製品のニーズと不織布原反のメーカーについて
回答	クリーンな環境下で利用できる製品が求められています。不織布原反メーカーより繊維の脱落が少ない素材の提供を受けており、既成製品だけでなく、顧客が求めるサイズ・形状に加工して提供することもあります。また、自動化によりロール形状の要望が増加しており、それに応じた加工も行っております。
3	当社株式に関する社長の株式所有数と株価に対する見解について
回答	現時点での株式所有数は少ないものの、株式報酬制度により今後増加する予定です。また、一株当たりの純資産額を高める必要があるため、長期ビジョンを通じて企業価値を高め、株価上昇を図る方針です。
4	株主優待品の広報活動と販売方針について
回答	優待品に使用しているティッシュペーパーなどは、製法上で量産に向かない商品であり、市販品よりもコストが高くなります。このため、広報は行わず、関連会社の店舗や EC サイトでのみ販売しております。

5	日本プラントシーダー株式会社が営むシーダー農法の今後の展望について
回答	間引きの手間が軽減でき省人化に寄与するシーダー農法は、農家の高齢化や農業人口の減少に対応できるため、今後の成長を期待しています。また、農業関連を新規事業の注力分野として位置づけております。

6	株主優待品の外資系ホテルへの営業活動の有無について
回答	外資系ホテルへの具体的な営業活動は行っておらず、関連会社の店舗や EC サイトで販売しております。

7	大学新卒採用及び中途採用の社員並びに外国籍の社員の報酬や退職金の体系について
回答	人事制度の改定により能力・役割に応じた報酬体系に改めたため、中途採用や外国籍の社員に不利益は生じません。一方、退職金は在籍年数と等級によるポイント制のため、新卒採用と中途採用の社員では金額に差が生じることがございます。

8	取締役の定年制度について
回答	当社取締役の年齢上限は、社内の役員内規により定められております。

当社では、引き続き株主さまのご期待にお応えできるよう、企業価値の向上に向けて取り組んでまいり所存です。今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上